

資料 3

令和5年8月30日（水）
第1回行財政改革市民会議



姫路市行財政改革77/2024 ～未来志向型の行財政改革～

令和4年度 実績報告書（案）

姫路市 総務局 総務部 行政経営課

 〒670-8501 兵庫県姫路市安田四丁目1番地

 079-221-2947

 079-221-2123

 https://www.city.himeji.lg.jp/soshiki/2-1-4-0-0_1.html

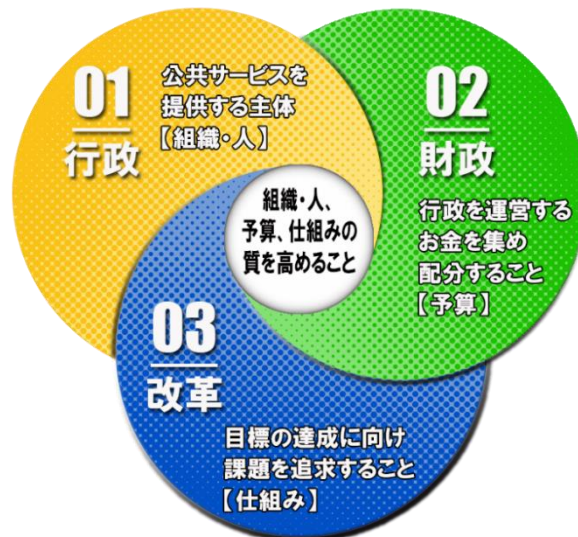


姫路市行財政改革プラン2024【概要】

令和2年度～令和6年度(5年間)

1 本プランにおける行財政改革とは...

“行政”は公共サービスを提供する主体となる「組織・人」のこと、“財政”は、行政運営を行う上で必要となるお金を集め・分配する「予算」のこと、“改革”は、目標の達成に向け課題を追求していく「仕組み」のことを意味し、それぞれが連携を図ることで、それぞれの質を高め、ゴール（目標）に向かって一歩ずつ前進していきます。



2 行財政改革に取り組む背景

高齢社会の進行による医療や介護などの社会保障費の増加のほか、公共施設等の老朽化に伴う多額の改修・更新経費などにより、歳出の増加が見込まれます。その一方で、本格的な人口減少に伴い税収が減るとともに、地方交付税の合併特例措置が令和2年度に終了するなど歳入は大幅に減少し、今後、厳しい財政運営となることが見込まれるため、引き続き、行財政改革に取り組んでいく必要があります。

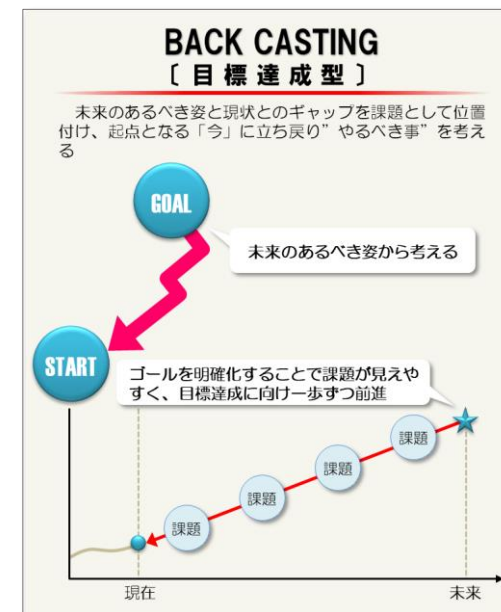
3 改革のテーマ

未来志向型の行財政改革

～時代の変化にチャレンジできる仕組みづくり～

未来のあるべき姿からのバックカスティングによる行財政改革に取り組むため、テーマを「未来志向型の行財政改革」、サブテーマを「時代の変化にチャレンジできる仕組みづくり」とし、変化の激しい時代において、未来を切り拓いていくポジティブな意識をもって行財政改革を進めていきます。

[バックカスティングのイメージ]



4 推進方策（3つの基本方針と8つの戦略）

「組織・人」「予算」「仕組み」に関する3つの基本方針のもと、8つの戦略を掲げ行財政改革を推進します。

基本方針1〔組織・人〕

強い組織づくりと働き方改革

組織目標の達成に向け、一丸となれる組織文化づくりに取り組みます。また、能率的な行政運営に向けて職員の育成・支援に努めるとともに、新たな時代に即した働き方改革を推進していきます。

戦略1：組織マネジメントの強化

戦略2：職員の成長に向けたサポート

戦略3：働き方改革の推進

基本方針2〔予算〕

持続可能な財政運営と予算の重点化

限りある財源を選択と集中に基づき予算配分することで、効率的・効果的な財政運営を推進し、健全財政を維持します。また、公共施設等の総合的かつ計画的な管理の推進と保有量の最適化に取り組み、財政負担の軽減・平準化に努めます。

戦略4：健全財政の維持

戦略5：収納対策と財源の確保

戦略6：公共施設マネジメントの推進

基本方針3〔仕組み〕

生産性の向上と連携・共創の推進

設定した目標（成果指標）と実績を振り返り見直しと改善を繰り返し（PDCA）生産性の向上を図ります。また、民間活力の積極的な活用や広域連携等を推進し、事業の効率性・有効性を高めていきます。

戦略7：効果的なPDCAと業務の効率化

戦略8：連携と共創による事業の推進

5 推進項目

8つの戦略の具体的な取組みとして、24の推進項目を設定しています。

01 組織体制の最適化

02 組織力の向上

03 市民の信頼確保

04 職員の能力開発・拡充とチャレンジ支援

05 人事評価制度の適正運用

06 健康経営の推進

07 ワーク・ライフ・バランスの充実

08 オフィス改革の推進

09 多様な人材の活用

10 選択と集中による予算編成

11 特別会計の健全経営の維持

12 企業会計の健全経営の維持

13 市税等の収納対策

14 財源の開拓と確保

15 公共施設等総合管理計画の推進

16 公共施設等の最適な管理運営

17 新たなPDCAサイクルの実施

18 ICTの積極的な活用

19 窓口サービスの向上

20 業務カイゼンの推進

21 公民連携の推進

22 広域連携の推進

23 市民活動への支援

24 外郭団体の活動支援と活性化

成果指標(KPI)実績

取組みの成果を測る指標（KPI*）として、基本方針ごとに数値目標を設定しています。

*KPI…Key Performance Indicatorsの略。組織の目標を達成するための重要な業績評価の指標のこと。

01 基本方針1:組織・人に関する成果指標

指標①	区分	R2年度 [R3.4.1現在]	R3年度 [R4.4.1現在]	R4年度 [R5.4.1現在]	R5年度 [R6.4.1現在]	R6年度 [R7.4.1現在]
職員数	目標	行政職 2,351人 技能労務職 568人 消防職 570人 教育職 285人 再任用職員 182人 任期付職員 35人 合計 3,991人	行政職 2,371人 技能労務職 553人 消防職 575人 教育職 285人 再任用職員 214人 任期付職員 35人 合計 4,033人	行政職 2,398人 技能労務職 541人 消防職 580人 教育職 285人 再任用職員 283人 任期付職員 35人 合計 4,122人	行政職 2,419人 技能労務職 526人 消防職 585人 教育職 285人 再任用職員 283人 任期付職員 35人 合計 4,133人	行政職 2,436人 技能労務職 506人 消防職 591人 教育職 285人 再任用職員 296人 任期付職員 35人 合計 4,149人
	実績	行政職 2,343人 技能労務職 562人 消防職 569人 教育職 281人 再任用職員 193人 任期付職員 32人 合計 3,980人	行政職 2,349人 技能労務職 547人 消防職 567人 教育職 270人 再任用職員 221人 任期付職員 30人 合計 3,984人	行政職 2,383人 技能労務職 532人 消防職 578人 教育職 256人 再任用職員 234人 任期付職員 29人 合計 4,012人		
		達成	未達成	未達成		

指標②	目標 [毎年度]	実績									
		R2年度		R3年度		R4年度		R5年度		R6年度	
年間の時間外勤務 時間数(総時間数)	65.7万時間以下	66.4万時間	未達成	69.0万時間	未達成	67.2万時間	未達成				

※管理職手当及び教職調整額の対象者を除く

成果指標(KPI)実績

02 基本方針2:予算に関する成果指標

- *実質赤字比率 : 市が自由に使える収入の標準額に対する普通会計の赤字額の合計の割合のこと。
- *連結実質赤字比率 : 全会計の赤字額の割合のこと。
- *実質公債費比率 : 年間の収入に対する借金返済額が占める割合(3年度間の平均値)のこと。
- *将来負担比率 : 今後返済が必要な借金の総額が収入の何倍に相当するかを示す数値のこと。

指標①	目標 [R6年度決算]	実績									
		R2年度決算		R3年度決算		R4年度決算		R5年度決算		R6年度決算	
実質赤字比率*	黒字	黒字	達成	黒字	達成						
連結実質赤字比率*	黒字	黒字	達成	黒字	達成	決算発表後					
実質公債費比率*	6.5%以下	2.9%	達成	3.0%	達成	に掲載					
将来負担比率*	45.0%以下	0.9%	達成	19.1%	達成						

指標②	目標 [5年間累積]	実績									
		R2年度		R3年度		R4年度		R5年度		R6年度	
本プランに基づいた 取組みによる効果額	63.6億円以上	20.7億円	達成度 32%	33.3億円 (単年12.6億円)	達成度 52%	53.4億円 (単年20億円)	達成度 84%				

※普通会計ベース

03 基本方針3:仕組みに関する成果指標

指標①	目標 [令和6年度]	実績									
		R2年度		R3年度		R4年度		R5年度		R6年度	
施策・事業評価の結果を 踏まえた見直し完了度	100%										

指標②	目標 [令和6年度]	実績									
		R2年度		R3年度		R4年度		R5年度		R6年度	
「現職場の効率」に 対する職員の意識割合 ※「とても良い、良い」の割合	60.0%以上	44.0%	未達成	47.7%	未達成	46.9%	未達成				

アクションプラン実績(総括)

01 数値目標達成状況

項目	実績				
	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
基本方針1〔組織・人〕	7/16 (43.8%)	8/17 (47.1%)	9/18 (50.0%)		
基本方針2〔予算〕	19/25 (76.0%)	19/25 (76.0%)	17/25 (68.0%)		
基本方針3〔仕組み〕	4/19 (21.1%)	3/18 (16.7%)	4/18 (22.2%)		
合計	30/60 (50.0%)	30/60 (50.0%)	30/61 (49.2%)		

〔表の見方〕 数値目標を達成した項目/数値目標を設定している項目 (数値目標の達成状況)

02 効果額

項目	実績				
	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
基本方針1〔組織・人〕	141,660千円	89,160千円	128,678千円		
基本方針2〔予算〕	1,230,532千円	902,233千円	1,503,939千円		
基本方針3〔仕組み〕	695,668千円	275,318千円	376,139千円		
合計	2,067,860千円	1,266,711千円	2,008,756千円		

令和4年度アクションプラン実績一覧

項目		数値目標				効果額	頁
		項目	目標値	実績値	達成状況		
基本方針1 【組織・人】 強い組織づくりと働き方改革							
01 組織体制の最適化	① 職員の定員適正化	職種別職員数	4,122人	4,012人	未達成	-	12
02 組織力の向上	② 組織目標の適正管理	「職場の方針・考え方」の理解度	90%以上	85.5%	未達成	-	13
	③ 庁内連携の強化	「職場内の話し合い」への回答割合	92%以上	84.1%	未達成	-	14
03 市民の信頼確保	④ 職員倫理の向上	姫路市職員倫理条例等チェックシートの正答率80%以上の割合	70%以上	61.7%	未達成	-	15
	⑤ リスクマネジメントの徹底	リスク評価における不備の発現率	3.75%以下	1.4%	達成	-	16
04 職員の能力開発・拡充とチャレンジ支援	⑥ 職員研修等の充実	研修後アンケートにおける充実度の割合	95%以上	97%	達成	-	17
05 人事評価制度の適正運用	⑦ 人事評価制度の改善	能力行動評価における「積極性・チャレンジ精神」がA以上の割合	20%以上	20.5%	達成	-	18
06 健康経営の推進	⑧ 長時間勤務の縮減	年間720時間超の時間外勤務を行う者の数	0人	13人	未達成	124,800千円	19
		一人当たりの年間の年次休暇取得日数	14日以上	14.3日	達成		
	⑨ 健康管理の充実	健康診断受診率	100%	99.7%	未達成	-	20
07 ワーク・ライフ・バランスの充実	⑩ 多様なワークスタイルの推進	時差勤務実施件数	延べ40,000人以上	41,672人	達成	-	21
		テレワーク実施件数	延べ1,100人以上	2,954人	達成		
		男性職員の育児休業取得率	13%以上	37.0%	達成		
08 オフィス改革の推進	⑪ 快適・効率的な職場環境づくり	スペースの利活用割合	7%以上	13.2%	達成	-	22
	⑫ ペーパーレス等の推進	用紙使用量（本庁舎集中管理分）	△10% (R2年度比)	△30.4%	達成	3,878千円	23
09 多様な人材の活用	⑬ 柔軟な職員採用・登用の拡大	学校訪問による説明会の実施回数	20校以上	9校	未達成	-	24
		職員採用試験の受験申込者数	募集人数の10倍以上	7.5倍	未達成		
		女性管理職比率	26%以上	24.2%	未達成		
小 計				9/18 (50.0%)		128,678千円	

令和4年度アクションプラン実績一覧

項目	数値目標				効果額	頁		
	項目	目標値	実績値	達成状況				
基本方針2〔予算〕 持続可能な財政運営と予算の重点化								
10 選択と集中による予算編成	⑭ 事業点検スキームの見直し	事業の見直し件数	150件以上	152件	達成	335,585千円	25	
		事業の見直しによる効果額	3億円以上	3.4億円	達成			
	⑮ インセンティブ予算制度の見直し	インセンティブ予算制度による事業の見直し件数	30件以上	25件	未達成	-	26	
11 特別会計の健全経営の維持	⑯ 健全経営に向けた取組み	卸売市場事業	収入率（売場等使用料）	99.8%以上	99.4%	未達成	-	27
		母子父子寡婦福祉資金貸付事業	収入率（現年分）	95.0%以上	98.3%	達成	1,472千円	28
		国民健康保険事業	ジェネリック(後発)医薬品利用率	80%以上	82.5%	達成	-	29
		介護保険事業	保険者機能強化推進交付金に係る評価指標合計点	全国平均 1,059点以上	1,200点	達成	-	30
		後期高齢者医療事業	収入率（現年分）	99.5%以上	99.6%	達成	5,627千円	31
		奨学学術振興事業	一般会計からの繰入金	無し	無し	達成	-	32
		12 企業会計の健全経営の維持	⑰ 経営戦略等に基づく健全経営の推進	水道事業	経費回収率(供給単価/給水原価)	100%	103.5%	達成
都市開発整備事業	資金不足額			無し	無し	達成	-	34
下水道事業	一般汚水の経費充足率			84.0%以上	84.5%	達成	-	35
13 市税等の収納対策	⑱ 収入率の向上			市税	収入率（現年分）	99.2%以上	99.4%	達成
		国民健康保険料	収入率（現年・一般被保険者分）	94.5%以上	94.2%	未達成	-	37
		介護保険料	収入率（現年分）	98.6%以上	99.3%	達成	64,649千円	38
		市営住宅使用料	収入率（現年分）	96.9%以上	98.0%	達成	13,801千円	39
		⑲ 私債権等の適正管理	支払督促を見据えた催告の実施件数	20件以上	10件	未達成	1,313千円	40

令和4年度アクションプラン実績一覧

項目		数値目標				効果額	頁
		項目	目標値	実績値	達成状況		
14 財源の開拓と確保	㊸ 受益者負担の適正化	使用料・手数料等の一斉見直しのチェック率	-	0%	未達成	-	41
	㊹ 普通財産の活用・処分	売却入札物件数	10件以上	6件	未達成	612,532千円	42
		売却収入額（5年間累計）	7.2億円以上	12.8億円	達成		
	㊺ 広告事業等の推進	広告収入額	3,700万円以上	4,248万円	達成	5,475千円	43
		広告媒体件数	32件以上	31件	未達成		
㊻ ふるさと納税の推進	寄付金額	2億円以上	2.3億円	達成	215,246千円	44	
15 公共施設等総合管理計画の推進	㊼ 施設評価に基づく適正規模・最適配置	公共建築物の床面積総量の削減率 ※計画策定時(H27)との比較	-	△1.4%	-	-	45
16 公共施設等の最適な管理運営	㊽ 民間ノウハウを活用した施設管理	指定管理者制度導入による効果額	1億円以上	-	-	-	46
	㊾ 公共建築物の適正保全	法定点検で「要是正」と指摘される建築物の棟数の割合	60%以下	74%	未達成	-	47
	㊿ 維持管理経費の縮減	電力・ガス入札を導入した全施設の効果額	2億円以上	2.4億円	達成	40,103千円	48
小 計				17/25 (68.0%)	1,503,939千円		

基本方針3 【仕組み】 生産性の向上と連携・共創の推進

17 新たなPDCAサイクルの実施	㊸ 総合計画の効果的な運用	施策・事業評価の結果を踏まえた見直し完了度	-	-	-	-	49
18 ICTの積極的な活用	㊹ AI、RPA等による作業の自動化・省力化	AI,RPA等の導入に伴う、定型的作業時間の削減	70%以上削減	63%	未達成	1,185千円	50
19 窓口サービスの向上	㊺ マイナンバーカードの利活用	マイナンバーカードの交付率	全国平均 67.02%以上	69.47%	達成	-	51
	㊻ 窓口サービスの効率化・省力化	窓口専用タブレット端末の設置施設数	-	-	-	-	52

令和4年度アクションプラン実績一覧

項目		数値目標				効果額	頁
		項目	目標値	実績値	達成状況		
20 業務カイゼンの推進	③② 職員提案制度の活性化	1課5ポイントの全課達成率	100%	83%	未達成	374,045千円	53
21 公民連携の推進	③③ PPP/PFIの推進	サウンディング型市場調査の実施件数	3件以上	3件	達成	-	54
	③④ 包括連携協定の推進	連携協定に基づく社会課題解決の新たな取組み件数（5年間累計）	20件以上(累計)	32件(累計)	達成	-	55
22 広域連携の推進	③⑤ 播磨圏域連携中枢都市圏の推進	播磨圏域連携中枢都市圏ビジョンに定める連携事業の実施率	100%	96%	未達成	-	56
23 市民活動への支援	③⑥ コミュニティ活動・ボランティア活動への支援	講座・研修会の開催回数、受講者数	5回 140人	5回 107人	未達成	-	57
		ボランティア登録数(団体、個人)	390団体 445人	362団体 398人	未達成		
24 外郭団体の活動支援と活性化	③⑦ 外郭団体の活性化						
	姫路市まちづくり振興機構	主催事業の参加人数	135,300人以上	65,928人	未達成	-	58
	姫路市中小企業共済センター	会員数	40,500人以上	39,445人	未達成	-	59
	姫路・西はりま地場産業センター	播産館運営収益	23,870千円以上	24,779千円	達成	909千円	60
	姫路市救急医療協会	正規看護師の充足率	100%	79.9%	未達成	-	61
		不要不急の受診抑制（電話相談により受診に至らなかった率）	78%以上	71.7%	未達成		
	姫路市文化国際交流財団	主催事業の参加人数	80,000人以上	52,266人	未達成	-	62
	姫路市社会福祉事業団	施設の稼働率(利用者数/定員数)	81.6%以上	73.2%	未達成	-	63
	姫路市社会福祉協議会	地域福祉ボランティア数	10,700人以上	9,685人	未達成	-	64
	姫路市シルバー人材センター	会員数	2,900人以上	2,113人	未達成	-	65
姫路観光コンベンションビューロー	会員数（正会員及び賛助会員数）	550件以上	445件	未達成	-	66	
小 計				4/18 (22.2%)		376,139千円	

実行計画実績報告の記載内容について

項目名					
GOAL〔目標〕	推進項目ごとにGOAL（目標）を記載しています				
具体的な取組名を記載しています					
【取組みの中心となる所管課名を記載しています】					
取組内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
取組内容を記載しています		各年度の行動計画を記載しています			
数値目標	〔〕内はH30年度・R1年度実績数値を記載しています	目標値	数値目標を記載しています		
		実績値	各年度の実績数値を記載しています		
			各年度の達成状況を記載しています		
単年度効果額		取組みによる効果額を記載しています			
令和4年度取組内容		当該年度の主な取組み内容や実績等を記載しています			

※「目標値」、「実績値」、「単年度効果額」については、該当しない場合は省略しています。

01 組織体制の最適化

GOAL〔目標〕

行政需要に適時・適切に対応できるムダ、ムリ、ムラのない生産性の高い組織体制を目指します。

① 職員の定員適正化

【所管課：人事課】

取組内容			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
定員適正化計画に基づく職員採用、職員配置			▶ 定員適正化計画に基づく適切な職員採用、職員配置（任用替えを含む）				
共通業務（庶務、給与、入札等）の集約化			▶ 集約可能な業務の調査・分析及び人員配置				
数値目標	職種別職員数〔平成31年4月1日〕 行政職 2,320人 技能労務職 603人 消防職 560人 教育職 278人 再任用フルタイム職員 119人 任期付フルタイム職員 18人 合計 3,898人	目標値	〔令和3年4月1日〕 行政職 2,351人 技能労務職 568人 消防職 570人 教育職 285人 再任用職員 182人 任期付職員 35人 合計 3,991人	〔令和4年4月1日〕 行政職 2,371人 技能労務職 553人 消防職 575人 教育職 285人 再任用職員 214人 任期付職員 35人 合計 4,033人	〔令和5年4月1日〕 行政職 2,398人 技能労務職 541人 消防職 580人 教育職 285人 再任用職員 283人 任期付職員 35人 合計 4,122人	〔令和6年4月1日〕 行政職 2,419人 技能労務職 526人 消防職 585人 教育職 285人 再任用職員 283人 任期付職員 35人 合計 4,133人	〔令和7年4月1日〕 行政職 2,436人 技能労務職 506人 消防職 591人 教育職 285人 再任用職員 296人 任期付職員 35人 合計 4,149人
		実績値	〔令和3年4月1日〕 行政職 2,343人 技能労務職 562人 消防職 569人 教育職 281人 再任用職員 193人 任期付職員 32人 合計 3,980人	〔令和4年4月1日〕 行政職 2,349人 技能労務職 547人 消防職 567人 教育職 270人 再任用職員 221人 任期付職員 30人 合計 3,984人	〔令和5年4月1日〕 行政職 2,383人 技能労務職 532人 消防職 578人 教育職 256人 再任用職員 234人 任期付職員 29人 合計 4,012人		
	達成	未達成	未達成				
単年度効果額			-	-	-		
令和4年度取組内容			▶ 定員適正化計画に沿った運用に努め、増大する行政需要に対応できるよう職種を精査し、職員配置を行うことができた。 ▶ 職員の配置にあたっては、自己申告等により、職員本人の希望を確認するとともに、各所属からの要望を踏まえ、総合的に判断して配置した。				

02 組織力の向上

GOAL〔目標〕

コミュニケーションを十分に図り、関係部局と協力・連携しながら、迅速かつ的確に課題解決に取り組めるよう組織力の強化を目指します。

② 組織目標の適正管理

【所管課：人事課】

取組内容		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
組織の目的・目標の浸透、フリカエリ		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 組織運営に関する研修の実施 ▶ 組織目標を踏まえた個人目標設定の徹底 ▶ 組織目標のフリカエリの実施 				
数値目標	目標値	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上
	実績値	88.3%	88.6%	85.5%		
		未達成	未達成	未達成		
単年度効果額		—	—	—		
令和4年度取組内容		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 階層別研修において、組織マネジメント等に関する研修を行い、適正な組織運営を図った。 ▶ 人事評価の実施にあたり、年度当初に各所属において組織目標を作成し、職場内ミーティング等により組織目標を共有するよう周知した。 				

③ 庁内連携の強化

【所管課：企画政策室、人事課】

取組内容		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
横断的な連携の強化		▶ 庁内会議（経営会議、調整会議、PT・WG等）の積極的な活用				
職場内コミュニケーションの活性化		▶ 終礼の徹底、OJT、課内ミーティング、個人面談の実施				
数値目標	「職場内の話し合い」への回答割合 ※「よく行われている、行われている」の割合 [H30年度実績：89.6%] [R 1年度実績：87.1%]	目標値	92%以上	92%以上	92%以上	92%以上
		実績値	86.9%	88.4%	84.1%	
			未達成	未達成	未達成	
単年度効果額		-	-	-		
令和4年度取組内容		▶ 市政の円滑かつ効率的な運営に努めるため、庁議（経営会議、調整会議等）を積極的に開催した。 ▶ 朝礼や終礼を行うことで職場内でコミュニケーションの活性化を図るよう、労務管理推進員会議（部長級職員）及び階層別研修において周知した。				

03 市民の信頼確保

GOAL〔目標〕

職員一人ひとりが高い倫理意識と責任感のもと、社会規範に反することなく公正・公平に業務を遂行するとともに、リスクに対する予防・抑制及び改善に取り組み、市民から信頼される市役所の実現を目指します。

④ 職員倫理の向上

【所管課：職員倫理課】

取組内容		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
職員倫理条例の適正な運用		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 倫理監督者会議の開催 ▶ 職員倫理研修等の実施 				
不正を発生させない・許さない組織風土づくり		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 倫理通信の発行 ▶ グループミーティングの実施 ▶ 倫理週間における啓発活動 				
数値目標	姫路市職員倫理条例等チェックシートの正答率80%以上の割合 ※6月及び12月実施の平均値 [H30年度実績：60.5%] [R1年度実績：81.0%]	目標値	65%以上	65%以上	70%以上	70%以上
		実績値	55.7%	79.8%	61.7%	
			未達成	達成	未達成	
単年度効果額		-	-	-		
令和4年度取組内容		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 倫理監督者会議の開催し、制度運用状況の説明、事例紹介等を行うほか、幹部職員研修やカスタマーハラスメントへの対応研修など職員倫理に関する研修を実施した。 ▶ 定例局長会議、倫理監督者会議、局庶務担当者会議等を活用するほか、8月に倫理通信を発行し、市議会議員からの不当要求行為防止に係る取り組みや令和4年度の不当要求行為に関する状況について職員に周知した。 ▶ 職員の公務員倫理に対する意識を高め、綱紀保持意識の浸透を図るため、6月と12月の職員倫理週間に啓発活動を行った。 ▶ 姫路市職員倫理条例等チェックシートについては、令和3年度まで倫理条例の一般的な内容を質問項目としていたが、令和4年度から市議会議員の不当要求行為の再発防止に係る取組を周知をするため、その取組内容を質問項目とした。（再発防止策の取組開始から間もない6月分の実績値は52.2%と昨年度実績に比べ大きく低下したが、職員研修やグループミーティング等の実施の成果もあり、12月分の実績値は71.9%と目標値を上回った。） 				

※誤答した設問については、グループ討議等で間違えた点を把握し、正しい内容を理解するようフォローアップを行います。

⑤ リスクマネジメントの徹底

【所管課：行政管理課】

取組内容		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
リスク管理の徹底による危険の発生の予防・抑制、被害の最小化		<ul style="list-style-type: none"> ▶ リスクの洗い出しの徹底・見える化 ▶ リスク事案・対応策等の庁内共有化 				
数値目標	リスク評価における不備の発現率	目標値	3.75%以下	3.75%以下	3.75%以下	3.75%以下
		実績値	3.8%	1.7%	1.4%	
			－	達成	達成	
単年度効果額		－	－	－		
令和4年度取組内容		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 各課において、「リスク評価シート」に基づき、リスクの洗い出し及び対応策の検討を行い、全庁的なリスク管理の取り組みを実施した。 ▶ リスク事案・対応策等について、庁内共有を図った。 				

04 職員の能力開発・拡充とチャレンジ支援

GOAL [目標]

個々の能力やステージに応じた自己のパフォーマンスを最大限に生かし、組織に貢献できる人材の育成を目指します。

⑥ 職員研修等の充実

【所管課：研修厚生センター】

取組内容		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
研修メニューの充実		▶ 研修メニューの検証・見直し				
自己啓発へのサポート強化		▶ 資格取得助成等の周知、効果の検証				▶ 助成対象資格の見直し
数値目標	研修後アンケートにおける充実度の割合 ※「大変有意義であった、まあまあ有意義であった」の割合	目標値	95%以上	95%以上	95%以上	95%以上
		実績値	97%	97%	97%	
		達成	達成	達成		
単年度効果額		-	-	-		
令和4年度取組内容		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 研修メニューについて、廃止するものや新たに加えるものなど見直しを行い、研修の充実度のアップにつながった。 ▶ 資格取得助成の周知を頻繁に実施し、国家資格だけでなく、業務効率の向上につながる資格取得に関しても積極的に申請があった。また、業務に必要な資格についての制度内容の充実を図るため、助成内容の見直しを行った。 				

05 人事評価制度の適正運用

GOAL〔目標〕

職員一人ひとりが主体的に行動しながら高いモチベーションとパフォーマンスで業務を遂行し、自己の成長と組織目標の達成を目指します。

⑦ 人事評価制度の改善

【所管課：人事課】

取組内容		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
職員研修の継続実施		▶職員研修の実施（制度の趣旨・目的の理解、評価スキルの習得・均一化等）				
導入効果の検証・課題整理		▶評価結果の検証 ▶研修への反映				
数値目標	能力行動評価における「積極性・チャレンジ精神」がA以上の割合 〔H30年度実績：19.2%〕 〔R1年度実績：21.7%〕	目標値	20%以上	20%以上	20%以上	20%以上
		実績値	22.5%	20.5%	20.5%	
			達成	達成	達成	
単年度効果額		-	-	-		
令和4年度取組内容		▶ 評価者と被評価者の面談を促すなど、人事評価制度の適正な運用に努めた。 ▶ 評価基準に偏りが出ないように、評価実施後の分析結果の周知を行った。				

06 健康経営の推進

GOAL〔目標〕

時間外勤務時間の縮減及び職員の健康サポート体制を充実させ、すべての職員が心身ともに健康に働くことができる職場環境を目指します。

⑧ 長時間勤務の縮減

【所管課：人事課】

取組内容		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
時間外勤務上限規制*の遵守		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 22時以降及び一月あたり45時間超の時間外勤務の原則禁止 ▶ 一月あたり6日(7・8月は8日)の定時退庁の推進 ▶ 年次休暇の取得促進 ▶ 所属長へのヒアリングの実施 					
繁忙期の業務支援体制の強化		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 繁忙期における柔軟な人員配置等の推進 					
数値目標	年間720時間超の時間外勤務を行う者の数 〔H30年度実績：24人〕 〔R1年度実績：10人〕	目標値	0人	0人	0人	0人	
		実績値	19人	19人	13人		
		未達成	未達成	未達成			
	一人当たりの年間の年次休暇取得日数 〔H30年度実績：12.9日〕 〔R1年度実績：12.9日〕	目標値	14日以上	14日以上	14日以上	14日以上	14日以上
		実績値	13.9日	13.6日	14.3日		
		未達成	未達成	達成			
単年度効果額		141,440千円	87,360千円	124,800千円			
令和4年度取組内容		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 労務管理推進員会議を開催し、長時間勤務の禁止や22時以降の深夜勤務の禁止のほか、定時退庁の徹底や年次休暇の取得促進等について労務管理推進員（部長級職員）へ周知した。 ▶ 時間外勤務の上限規制への対応のため、概ね月60時間を超える職員のある所属長及び担当係長との面談を行った。 ▶ 主幹級以上の人事評価において「時間外縮減に向けた取組み」又は「業務の効率化に向けた取組み」を業績評価の目標として設定した。 					

*時間外勤務上限規制

月100時間未満、年720時間以下、複数月平均80時間以下、月45時間超は年に6ヶ月以下

⑨ 健康管理の充実

【所管課：研修厚生センター】

取組内容		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
メンタルヘルス不調の発生予防策の推進		<ul style="list-style-type: none"> ▶メンタルヘルス研修(セルフケア、ラインケア)の実施 ▶メンタルヘルスに関する情報提供及び啓発 				
メンタルヘルス不調者の早期発見・早期対応支援の充実		<ul style="list-style-type: none"> ▶健康管理室での個別支援 ▶新人・任用替え職員面接及び高ストレス者・長時間勤務者面接等の実施 				
健康な体づくりへのサポート		<ul style="list-style-type: none"> ▶生活習慣病への対応に重点をおいた健康管理対策の推進 ▶禁煙サポート 				
数値目標	健康診断受診率	目標値	100%	100%	100%	100%
	〔H30年度実績：99.3%〕 〔R 1年度実績：98.5%〕	実績値	99.6%	99.7%	99.7%	
			未達成	未達成	未達成	
単年度効果額		-	-	-		
令和4年度取組内容		<ul style="list-style-type: none"> ▶メンタルヘルス研修において不調予防・早期発見の対策について啓発した。 ▶メンタルヘルス不調者に対し、定期的な面接等による個別支援により早期発見・早期対応を実施した。 ▶休職中・復職後の職員に対し、定期的な面接等による支援を実施した。 ▶新入職員の不調予防対策として、全数面接を実施した。 ▶ストレスチェックの実施と高ストレス者、長時間勤務者に対する産業医による面接を実施した。 ▶職員心の健康づくり計画を改定し、目標数値の設定やストレスチェックの結果および集団分析結果を追記したほか、ハラスメント防止についても記載した。 				

07 ワーク・ライフ・バランスの充実

GOAL〔目標〕

多様な働き方や日常生活の充実によって仕事の効率・パフォーマンスが向上し、個人の時間を持てる豊かな生活が送れるようワーク・ライフ・バランスの実現を目指します。

⑩ 多様なワークスタイルの推進

【所管課：デジタル戦略室、人事課】

取組内容		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
時差勤務、テレワークの普及拡大		<ul style="list-style-type: none"> 働き方改革通信の発行等による啓発 利用者アンケートの実施及び見直し（勤務区分、申請方法等） 					
年次休暇、男性職員の育児休業等の取得促進		<ul style="list-style-type: none"> 労務管理推進員会議での啓発 子育て応援シート、子育て支援ハンドブック及びパパの教科書等の発行による啓発 					
数値目標	時差勤務実施件数 〔H30年度実績〔8ヶ月〕：216人〕 〔R1年度実績：3,108人〕	目標値	延べ1,500人以上	延べ19,500人以上 (当初:延べ1,500人以上)	延べ40,000人以上 (当初:延べ1,500人以上)	延べ40,000人以上 (当初:延べ1,500人以上)	延べ40,000人以上 (当初:延べ1,500人以上)
		実績値	45,293人	77,324人	41,672人		
		達成	達成	達成			
	テレワーク実施件数 〔H30年度実績〔8ヶ月〕：62人〕 〔R1年度実績：206人〕	目標値	延べ50人以上	延べ1,100人以上 (当初:延べ50人以上)	延べ1,100人以上 (当初:延べ50人以上)	延べ1,100人以上 (当初:延べ50人以上)	延べ1,100人以上 (当初:延べ50人以上)
		実績値	620人	2,436人	2,954人		
		達成	達成	達成			
男性職員の育児休業取得率 〔H30年度実績：7.9%〕 〔R1年度実績：10.8%〕	目標値	13%以上	13%以上	13%以上	37.6%以上	38.2%以上	
	実績値	20.7%	33.3%	37.0%			
	達成	達成	達成				
単年度効果額		-	-	-			
令和4年度取組内容		<ul style="list-style-type: none"> 時差勤務については、新型コロナウイルス感染症対策として接触の削減に資するため、12勤務区分で継続実施した。 働き方改革通信において、時差勤務や男性育休の体験記等について取り上げ、職員への周知を図った。 職務と子育ての両立を図るため、子育て部分休業の制度を新設し、運用を開始した。 労務管理推進員会議において、年次休暇の取得促進と男性職員の育児に伴う休暇・休業の取得促進について周知した。 「姫路市職員の子育て支援ハンドブック」や「子育て応援シート」の活用のほか所属長等からの取得勧奨などにより育児休業等の取得促進に努めた。 令和3年度に実施したテレワーク兵庫の実証実験について結果を分析し、本格運用案を作成した。 					

08 オフィス改革の推進

GOAL〔目標〕

快適で働きやすいオフィス空間を形成することにより職員の働き方改革を推進し、生産性の向上を目指します。

⑪ 快適・効率的な職場環境づくり

【所管課：こども未来局、行政管理課、管財課】

取組内容		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
オフィススペースの確保・環境整備（備品の見直し、物品の共有・集約、レイアウト変更等）		<ul style="list-style-type: none"> ▶ モデル事業の効果検証 ▶ 実施場所の選定 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 実施場所の選定 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 実施 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ オフィス改革手法を周知し、各所属の自律的取組を促進 	
スペースの有効活用				<ul style="list-style-type: none"> ▶ スペースの利活用（コワーキングスペース、更衣スペース、リフレッシュスペース等の設置） 		
窓口の集約化				<ul style="list-style-type: none"> ▶ 分散した窓口の集約及びレイアウト変更 		
数値目標	目標値	－	－	7%以上	7%以上	令和6年度に設定
	実績値	－	－	13.2%		
	達成	－	－	達成		
単年度効果額		－	－	－		
令和4年度取組内容		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 教育委員会事務局（北別館4階～6階へ移転）を対象にオフィス改革を実施し、生み出された余剰スペースは、集中作業ブース、更衣室、休憩スペースとして利活用するだけでなく、係と係の間の通路をより広く確保する等、労務上、安全・快適な執務環境になるように利活用を行った。 ▶ オフィス改革推進プロジェクトに係る今後の対応方針として、これまでの取組で得た知見やノウハウ等の内容を取りまとめ、次年度以降オフィス改革の手法として全庁に周知することで、各部局の自律的な取組を促進する方針を決定した。 ▶ 本庁舎2階と9階に分散していたこども未来局の窓口を1箇所に集約し、子ども子育て窓口のワンストップ化を実現するとともに受付発券機を導入したことで、窓口対応の時間が短縮されるなど効率化が図られた。 ▶ 窓口の集約に伴い文書収納量を約25%削減したことでペーパーレス等が進展したほか、新たにソロワークスペース、リフレッシュスペース等の設置に加え、グループアドレスの導入等により、作業効率・生産性の向上につながった。 				

⑫ ペーパーレス等の推進

【所管課：デジタル戦略室、行政管理課】

取組内容		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
文書電子化の推進		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 電子決裁の推進 ▶ 庁内通信ネットワークの活用 ▶ ペーパーレス会議の推進 					
4S運動*の徹底		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 4S運動の啓発 ▶ 執務環境整理週間・文書整理週間の実施 					
モバイル型PCの導入拡大		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 既存のモバイル型PCの利用形態の分析及び配置計画の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 既存PCをモバイル型PCに更新（一部） 		<ul style="list-style-type: none"> ▶ モバイル型PCの増設 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 既存PCをモバイル型PCに更新（一部） 	
認証プリンタ*による印刷機能集約化		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 試行導入により検証（総務局、都市局導入分） ▶ 利用状況分析 ▶ マイナンバーカード利用の検証 ▶ プリンタ適正配置計画の作成 					
数値目標	用紙使用量（本庁舎集中管理分） 〔H30年度実績：前年度対比△5%〕 〔R1年度実績：前年度対比1.9%〕	目標値	前年度実績以下	△4%（R2年度比）	△10%（R2年度比）	△15%（R2年度比）	△25%（R2年度比）
		実績値	△2.9%	△12.2%	△30.4%		
		達成	達成	達成			
単年度効果額		220千円	1,800千円	3,878千円			
令和4年度取組内容		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 電子決裁、ペーパーレス会議の推進について、庁内会議で周知を行った。 ▶ コピー量の多い所属に削減の取組を義務付けるなど用紙使用削減に向けた啓発を行ったほか、用紙配布方法変更通知を送付し、用紙を計画的に配布した。 ▶ プリンタ・複合機の現状配置を確認するとともに、認証プリンタの運用方法を検討し、最適配置案を作成した。 					

*4S運動
職場の安全衛生や職務能率の向上を図るため、職場の整理・整頓・清掃・清潔に取り組むこと。

*認証プリンタ
印刷指示した後、ICカードで認証を行って印刷するプリンタのこと。

09 多様な人材の活用

GOAL [目標] 多種多様な人材のベストミックスによって業務を効果的・効率的に割当て、個々のパフォーマンスを最大限発揮することで生産性の向上を目指します。

⑬ 柔軟な職員採用・登用の拡大

【所管課：人事課】

取組内容		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
定年延長への対応		<ul style="list-style-type: none"> 組織の継続・職員の育成を念頭に置いた職域の開発及び計画的な職員採用 					
多彩な職員採用の実施		<ul style="list-style-type: none"> 法務専門員等の高度な専門知識等を有する職員採用 					
女性が活躍できる組織（風土）づくり		<ul style="list-style-type: none"> 女性職員のモチベーションの維持・向上 女性職員のキャリア形成を支援する体制の整備 					
数値目標	学校訪問による説明会の実施回数 〔H30年度実績：21校〕 〔R 1年度実績：22校〕	目標値	20校以上	20校以上	20校以上	20校以上	20校以上
		実績値	9校	5校	9校		
			未達成	未達成	未達成		
	職員採用試験の受験申込者数 〔H 30年度実績：11.4倍〕 〔R 1年度実績：9.2倍〕	目標値	募集人数の10倍以上	募集人数の10倍以上	募集人数の10倍以上	募集人数の10倍以上	募集人数の10倍以上
		実績値	9.6倍	8.7倍	7.5倍		
			未達成	未達成	未達成		
女性管理職比率 ※一般行政職、係長以上 〔H30年度実績：19.8%〕 〔R 1年度実績：21.2%〕	目標値	26%以上	26%以上	26%以上	26.4%以上	26.8%以上	
	実績値	21.5%	22.7%	24.2%			
		未達成	未達成	未達成			
単年度効果額		-	-	-			
令和4年度取組内容		<ul style="list-style-type: none"> 在職職員の年齢分布等を勘案しながら計画的な職員採用を行った。 女性職員のモチベーションの維持・向上やキャリア形成を支援するため、内部研修として女性職員活躍研修の実施や外部の女性職員研修へ職員を派遣した。 					

10 選択と集中による予算編成

GOAL〔目標〕

実効性のある事業点検に基づき予算の選択と集中に取り組み、限りある財源の有効活用を目指します。

⑭ 事業点検スキームの見直し

【所管課：行政経営課、財政課】

取組内容		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
自律的事業点検の見直し		▶ 予算編成と連動した事業点検のスキームづくり	▶ 事業点検の試行 ▶ 効果の検証 ▶ スキームの修正	▶ 事業点検の本格実施		
数値目標	事業の見直し件数 〔H30年度実績：229件〕 〔R1年度実績：188件〕	目標値	150件以上	150件以上	150件以上	150件以上
		実績値	238件	155件	152件	
		達成	達成	達成	達成	
	事業の見直しによる効果額 〔H30年度実績：3.2億円〕 〔R1年度実績：3.3億円〕	目標値	3億円以上	3億円以上	3億円以上	3億円以上
		実績値	4.5億円	3.1億円	3.4億円	
		達成	達成	達成	達成	
単年度効果額		446,877千円	305,392千円	335,585千円		
令和4年度取組内容		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 予算編成に当たり、各課が全ての事務事業について、必要性や効果等を点検した結果、152件の見直しを行い、3.4億円の効果額を計上した。 ▶ 自律的事業点検の実施に加え、国・県の補助金等の財源確保を図るとともに、新たな財源開拓に努めるよう各課に呼び掛けた。 				

⑮ インセンティブ予算制度の見直し

【所管課：財政課】

取組内容		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
インセンティブ予算制度*及び還元型インセンティブ予算制度*の見直し		<ul style="list-style-type: none"> インセンティブ予算制度、還元型インセンティブ予算制度の実施 				
		<ul style="list-style-type: none"> 新制度の構築に向けた調査・検討 	<ul style="list-style-type: none"> 新制度の設計 	<ul style="list-style-type: none"> 新制度の実施 		
数値目標	目標値	30件以上	30件以上	30件以上	30件以上	30件以上
	実績値	87件	26件	25件		
		達成	未達成	未達成		
単年度効果額		-	-	-		
令和4年度取組内容		<ul style="list-style-type: none"> インセンティブ予算制度については、自律的事業点検による既存事業を廃止又は見直し、その節減額を「奨励金経済波及効果の調査・分析」、「姫路城謎解きイベント」、「相談支援機能の充実」などの新規事業に要する経費に充てた。 				

***インセンティブ予算制度**

事務事業のスクラップ・アンド・ビルドを進めるため、既存の事務事業に係る経費の節減額を、新規事業に要する経費に充てるもの（平成17年度～）

***還元型インセンティブ予算制度**

前年度中の職員の創意工夫による事務改善に伴う経費節減額又は増収額の一定割合を、新年度の予算に還元するもの（平成24年度～）

11 特別会計の健全経営の維持

GOAL〔目標〕

経費節減を図るとともに、収入率の向上等によって一般会計からの繰入金を可能な限り抑制しつつ、健全経営の維持を目指します。

⑯ 健全経営に向けた取組み

〔卸売市場事業〕

【所管課：中央卸売市場】

取組内容		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
経営戦略に基づく取組み		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 収入率の向上 ▶ 取扱量の増加 				
数値目標	収入率（売場等使用料）	目標値	99.8%以上	99.8%以上	99.8%以上	市場移転（令和4年度）後、新たに設定
	〔H30年度実績：99.6%〕 〔R 1年度実績：99.7%〕	実績値	99.4%	99.4%	99.4%	
			未達成	未達成	未達成	
単年度効果額		-	-	-		
令和4年度取組内容		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 過年度の滞納に対する納付を進めるため、個別に面談を実施した。 ▶ 現年分の新たな滞納が発生しないよう、状況を把握しながら納付書配布時等に適宜納付を促した。 				

〔母子父子寡婦福祉資金貸付事業〕

【所管課：こども支援課】

取組内容		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
収入率の向上（母子父子寡婦福祉資金貸付償還金）		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 口座振替の推進 ▶ 滞納者への文書による督促、電話・訪問での償還指導 ▶ 裁判所への支払督促申立て等の実施 				
数値目標	収入率（現年分）	95.0%以上	95.0%以上	95.0%以上	95.0%以上	95.0%以上
	〔H30年度実績：96.8%〕 〔R 1年度実績：97.5%〕	97.7%	98.0%	98.3%		
	実績値	達成	達成	達成		
単年度効果額		1,361千円	1,472千円	1,472千円		
令和 4 年度取組内容		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 収入率の向上に向けて、償還開始前の口座振替申し込みを強化した。 ▶ 法制課と連携して長期滞納者に対し、償還指導を13件実施した。 				

〔国民健康保険事業〕

【所管課：国民健康保険課】

取組内容		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
医療費の抑制		<ul style="list-style-type: none"> ▶ ジェネリック医薬品の周知 ▶ 適正受診の啓発 				
保険者努力支援制度交付金の獲得		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 保険料の収入率向上対策 ▶ 健康づくりや生活習慣病重症化予防事業等の保健事業の実施 ▶ 特定健診受診率の向上 				
数値目標	ジェネリック（後発）医薬品利用率	目標値	80%以上	80%以上	80%以上	80%以上
	〔H30年度実績：76.6%〕 〔R 1年度実績：78.9%〕	実績値	81.0%	81.3%	82.5%	
			達成	達成	達成	
単年度効果額		-	-	-		
令和 4 年度取組内容		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 患者負担の軽減や医療費適正化のため、パンフレット（姫路市の国保）にジェネリック医薬品希望カードを添付するほか、ジェネリック医薬品に切り替えた場合の差額について被保険者へ通知した。 ▶ 保険者努力支援制度交付金の獲得に向け、特定健診未受診者勧奨や特定保健指導未利用者勧奨事業、生活習慣病重症化予防事業等を実施した。 				

〔介護保険事業〕

【所管課：介護保険課、地域包括支援課】

取組内容		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
一般介護予防事業の推進		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 介護予防に取り組む自主グループの立ち上げ支援 ▶ 活動継続のための支援 		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 通いの場参加ポイント事業の実施 		
介護給付の適正化事業の実施		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 要介護認定の適正化 ▶ ケアプランの点検、介護給付費通知による過剰サービスの抑制 ▶ 縦覧点検・医療情報との突合 				
数値目標	目標値	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上
	実績値	全国1,271.1点 姫路1,329点	全国 1,273点 姫路 1,361点	全国 1,059点 姫路 1,200点		
		達成	達成	達成		
単年度効果額		-	-	-		
令和4年度取組内容		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 高齢者の通いの場への参加者の増加を実現するため、新規グループの立ち上げ支援を行ったほか、いきいき百歳体操参加者のうち、姫路市民アプリ（ひめパス）を利用する者に対して参加者ポイントを付与する取組を開始した。 ▶ 介護予防自主グループに対して、介護予防活動の継続ができるよう令和2年度に作成した継続支援マニュアルを用いて、支援を行った。 ▶ 令和2年度からリハビリテーション専門職を継続して配置し、ケアプラン点検等を行い給付の適正化を図った。 				

〔後期高齢者医療事業〕

【所管課：後期高齢者医療保険課】

取組内容		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
収入率の向上（後期高齢者医療保険料）		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 口座振替の勧奨 ▶ 電話等による催告 				
数値目標	収入率（現年分）	99.5%以上	99.5%以上	99.5%以上	99.5%以上	99.5%以上
	〔H30年度実績：99.5%〕	99.6%	99.7%	99.6%		
	〔R 1年度実績：99.6%〕	達成	達成	達成		
単年度効果額		8,514千円	9,752千円	5,627千円		
令和 4 年度取組内容		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 収入率の向上のため、新規資格取得者に対し口座振替の勧奨を実施したほか、電話等による催告を行った。 				

〔奨学学術振興事業〕

【所管課：高等教育室】

取組内容		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業計画に基づく奨学学術振興事業の実施		▶ 基金の利子収入等による計画的な事業の実施				
貸付金の償還管理		▶ 播戸奨学金の償還管理				
数値目標	目標値	無し	無し	無し	無し	無し
	実績値	無し	無し	無し		
		達成	達成	達成		
単年度効果額		-	-	-		
令和4年度取組内容		▶ 一般会計課からの繰り入れを行うことなく、基金の利子収入等により事業を計画的に実施した。				

12 企業会計の健全経営の維持






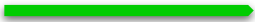
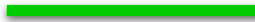
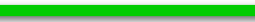
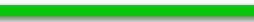
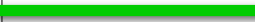





GOAL〔目標〕

独立採算の原則に基づき、各会計の健全経営の維持を目指します。

⑰ 経営戦略等に基づく健全経営の推進

〔水道事業〕

【所管課：経営管理課、上下水道サービス課、水道施設計画課、浄水課】

取組内容		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
水道料金体系・水準の適正化		 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 水道料金の改定 	 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 料金改定による効果の検証 			 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 料金体系の見直し ▶ 水道ビジョン中間見直し 	
民間活力の活用		 <ul style="list-style-type: none"> ▶ PPP/PFI導入検討（新浄水場整備） 	 <ul style="list-style-type: none"> ▶ スマートメーター導入拡大の検討 ▶ 配コンシステムのクラウド化 等 				
広域化の調査・研究		 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 先行事例の調査・研究、課題の抽出 	 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 広域化の導入検討 				
数値目標	経費回収率（供給単価／給水原価） 〔H30年度実績：100.1%〕 〔R 1年度実績：98.3%〕	目標値	100%	100%	100%	100%	100%
		実績値	97.2%	109.4%	103.5%		
		未達成	達成	達成			
単年度効果額		-	-	-			
令和4年度取組内容		<ul style="list-style-type: none"> ▶ スマートメーターの導入拡大については、現在西島のみで実施しているスマートメーターを男鹿島にも拡大するべく、導入メーターの通信・設置等の調査・検討を行ったが十分な結果が得られず、今後再検討を行うことを決定した。 ▶ 甲山浄水場更新事業のうち新浄水場建設については、民間のノウハウ活用や新技術の導入、工期の短縮等に向け、DB（設計・施工一括）方式で実施する方針に決定した。 ▶ 配コンシステムのクラウド化及び旧市域と旧町域で異なっているシステムの統廃合に向けて、配水コントロール施設（親局）と子局の通信方法を、電話回線から光回線に変更することを決定した。 					

〔都市開発整備事業〕

【所管課：都市計画課】

取組内容		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
霊苑の計画的な整備、貸付		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 姫路西霊苑(第2期) 施設整備の実施 				
		▶ 名古屋山霊苑、姫路西霊苑、片山霊園の貸付				
数値目標	目標値	無し	無し	無し	無し	無し
	実績値	無し	無し	無し		
		達成	達成	達成		
単年度効果額		-	-	-		
令和 4 年度取組内容		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 名古屋山霊苑、姫路西霊苑、片山霊園については、計画的に貸付を行っている。 ▶ 令和元年に策定した「姫路市都市開発整備事業会計経営戦略」に基づき健全経営に取り組み、資金不足比率に関しては不足無しを達成することができた。 				

〔下水道事業〕

【所管課：経営管理課、下水道整備課、下水道管理センター】

取組内容		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
下水道料金体系・水準の適正化		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 経営戦略中間見直し ▶ 下水道使用料の見直し 				
老朽化対策		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 計画的な施設の改築・更新 				
雨水排水対策		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 計画的な雨水ポンプ場、雨水幹線、雨水貯留地等の整備 				
コミプラ・集排*の公共下水道への接続		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 計画的な公共下水道への接続 				
数値目標	目標値	79.3%以上	83.9%以上 (当初:79.8%以上)	84.0%以上 (当初:79.8%以上)	84.1%以上 (当初:79.0%以上)	84.1%以上 (当初:77.2%以上)
	実績値	84.1%	85.7%	84.5%		
		達成	達成	達成		
単年度効果額		-	-	-		
令和4年度取組内容		<ul style="list-style-type: none"> ▶ ストックマネジメント計画に基づく計画的な改築更新を実施した。 ▶ 雨水排水対策として、汐入川才西川放水路幹線など、雨水幹線の整備を実施した。 ▶ 近年の降雨の激甚化による浸水被害を軽減するため、浸水対策の基本方針を定める「姫路市雨水管理総合計画」を策定したほか、下水道雨水処理区域において、想定し得る最大規模の降雨時の浸水被害を図面化した内水ハザードマップを作成した。 ▶ コミプラ・集排の公共下水道への接続として、管渠整備を継続して進めている。 				

***コミプラ・集排**

コミュニティ・プラント、集落排水処理施設の略。各家庭からのし尿や生活雑排水などの汚水を処理する施設のこと。

***一般汚水の経費充足率**

下水道使用料徴収額 / 「分流式下水道等に要する経費」を控除する前の使用料対象経費（本来使用料で賄うべき経費）

13 市税等の収納対策

GOAL〔目標〕

安定した収入の確保及び負担の公平性の維持を目指します。

⑱ 収入率の向上

〔市税〕

【所管課：納税課】

取組内容		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
収入率の向上		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 滞納整理の早期着手 ▶ 差押えの強化 				
数値目標	収入率（現年分）	目標値	99.2%以上	99.2%以上	99.2%以上	99.2%以上
	〔H30年度実績：99.2%〕 〔R 1年度実績：99.2%〕	実績値	98.5%	99.4%	99.4%	
			未達成	達成	達成	
単年度効果額		-	152,333千円	208,136千円		
令和4年度取組内容		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 令和4年度滞納整理基本方針に基づき、新規滞納者並びに直近過年度滞納者に対する早期の納税指導、滞繰滞納者の整理促進、給与等の債権を中心とした差押強化等を行うなど、積極的な滞納整理に努めた。 ▶ 電子マネー収納のサービス拡大（au PAY、d払いを追加）を行うとともに、クレジットカードやモバイルレジを含めた、利用促進チラシの作成や各種広報媒体を活用したPRにより、キャッシュレスでの収納を推進し、さらなる納付機会の拡充及び納税者の利便性を向上させ、納税環境の整備に努めた。 				

〔国民健康保険料〕

【所管課：国民健康保険課】

取組内容		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
収入率の向上（国民健康保険料）		<ul style="list-style-type: none"> ▶口座振替加入勧奨、滞納処分の実施 ▶納付方法の多様化 				
数値目標	収入率（現年・一般被保険者分）	94.5%以上	94.5%以上	94.5%以上	94.5%以上	94.5%以上
	〔H30年度実績：94.4%〕 〔R 1年度実績：94.6%〕	95.1%	95.0%	94.2%		
	実績値	達成	達成	未達成		
単年度効果額		57,192千円	49,651千円	－		
令和 4 年度取組内容		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 国民健康保険料収納強化のため、仮想通貨など多様な財産の差押を行った。 ▶ 前年度に引き続き「収納対策緊急プラン」に基づき、口座振替加入勧奨等による加入率の向上のほか、財産調査を積極的に行うなど滞納処分の強化を図り、収入率の向上対策を実施した。 				

〔介護保険料〕

【所管課：介護保険課】

取組内容		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
収入率の向上（介護保険料）		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 口座振替の利用促進 ▶ 滞納処分の強化 ▶ FM放送等による制度の周知 ▶ コンビニ収納の開始 				
目標値	収入率（現年分）	98.6%以上	98.6%以上	98.6%以上	98.6%以上	98.6%以上
	〔H30年度実績：98.6%〕 〔R 1年度実績：98.9%〕	99.1%	99.2%	99.3%		
		達成	達成	達成		
単年度効果額		47,252千円	60,569千円	64,649千円		
令和4年度取組内容		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 保険料収納強化のため、口座振替の利用を促進するとともに、滞納者への滞納処分を行った。 ▶ 令和4年4月よりキャッシュレス決済を2社追加（au PAY、d払い）し、保険料の納付に関して利便性の向上を図った。 ▶ FM放送等による広報活動により制度の周知を図った。 				

〔市営住宅使用料〕

【所管課：住宅課】

取組内容		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
早期の催告、高額滞納者の抑制		▶ 明渡訴訟を提起する滞納の基準見直しを検討		▶ 効果の検証	▶ 徴収強化のための新たな手法の検討	
目標値	収入率（現年分）	96.9%以上	96.9%以上	96.9%以上	96.9%以上	96.9%以上
	〔H30年度実績：97.4%〕 〔R1年度実績：97.5%〕	98.0%	98.3%	98.0%		
	実績値	達成	達成	達成		
単年度効果額		15,251千円	17,009千円	13,801千円		
令和4年度取組内容		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 滞納者及び保証人に対し、電話催告等の納付指導を行った。 ▶ 徴収員による戸別訪問により滞納使用料の徴収を行った。 ▶ 悪質滞納者に対し、明け渡し訴訟を提起した。 ▶ 裁決後、明け渡しを行わない滞納者に対し、明け渡しの強制執行を行った。 				

19 私債権等の適正管理

【所管課：法制課】

取組内容		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
私債権及び非強制徴収公債権*の均一管理		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 債権管理説明会の開催 ▶ 債権管理ガイドブックの活用・更新 				
支払督促等の滞納債権回収の強化		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 法務専門員との連携による各課への相談支援 				
数値目標	支払督促を見据えた催告等、法務専門員と連携した滞納債権回収業務の実施件数	目標値	20件以上	20件以上	20件以上	20件以上
	〔H30年度実績：24件〕 〔R 1年度実績：24件〕	実績値	23件	22件	10件	
			達成	達成	未達成	
単年度効果額		885千円	1,116千円	1,313千円		
令和4年度取組内容		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 債権管理ガイドブックに基づき、各課への相談支援を行った。 ▶ 支払督促等の滞納債権回収の強化のため、法務専門員との連携による各課への相談支援を随時実施し、支払督促を見据えた催告を行った。 				

***私債権及び非強制徴収公債権**

市の債権は、私法上の原因に基づいて発生する「私債権」と公法上の原因に基づいて発生する「公債権」に区分され、公債権のうち、地方税の滞納処分の例により徴収することができない債権のことを「非強制徴収公債権」という。

14 財源の開拓と確保

GOAL〔目標〕

市有財産の有効活用等の取組みにより、安定した自主財源の確保を目指します。

⑳ 受益者負担の適正化

【所管課：財政課】

取組内容		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
使用料・手数料等の見直し		▶ 一斉見直しの実施 (延期)	▶ 予算編成時における随時見直しの実施		▶ 一斉見直しの実施	▶ 予算編成時における随時見直しの実施
数値目標	目標値	100%	—	—	—	100%
	実績値	0%	0%	0%		
		未達成	未達成	未達成		
単年度効果額		—	—	—		
令和4年度取組内容		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 令和5年度予算編成に合わせて、全庁一斉見直しを予定していたが、コロナ禍や急激な物価上昇による影響を考慮し次年度以降に延期した。 ▶ 今後の見直しに向け、他都市の状況等に関する情報収集を実施した。 				

②1 普通財産の活用・処分

【所管課：管財課】

取組内容		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
普通財産の売却・貸付		▶ 普通財産の売却・貸付					
数値目標	売却入札物件数 〔H30年度実績：10件〕 〔R1年度実績：4件〕	目標値	10件以上	10件以上	10件以上	10件以上	
		実績値	1件	2件	6件		
			未達成	未達成	未達成		
	売却収入額（5年間累計） 〔H26～H30年度実績：11.6億円〕 〔R1年度実績：2.32億円〕	目標値	2.4億円以上	4.8億円以上	7.2億円以上	13.8億円以上	14.8億円以上
		実績値	5.7億円	6.7億円	12.8億円		
			達成	達成	達成		
単年度効果額		574,937千円	94,947千円	612,532千円			
令和4年度取組内容		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 売却入札物件数及び随意契約による普通財産売却額が前年度よりも増加したことにより、前年度からの累計額は目標値を大きく上回った。 ▶ 購入希望者のニーズを広く捉えるため、新規物件の公募と共に、既存物件の価格見直しも進めていく。 					

② 広告事業等の推進

【所管課：行政経営課、管財課】

取組内容		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
広告媒体の拡大		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 新規媒体の開拓・支援 ▶ 制度の周知 					
公有財産（施設の空きスペース）の有効活用		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 自動販売機、デジタルサイネージ*の導入 					
数値目標	広告収入額 〔H30年度実績：3,660万円〕 〔R 1年度実績：3,798万円〕	目標値	3,600万円以上	3,650万円以上	3,700万円以上	3,750万円以上	3,800万円以上
		実績値	3,691万円	4,223万円	4,248万円		
			達成	達成	達成		
	広告媒体件数 〔H30年度実績：28件〕 〔R 1年度実績：30件〕	目標値	30件以上	31件以上	32件以上	33件以上	34件以上
		実績値	27件	27件	31件		
			未達成	未達成	未達成		
単年度効果額		914千円	5,723千円	5,475千円			
令和4年度取組内容		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 前年度未実施であった広告事業のうち、令和4年度は坊勢地域コミュニティバス時刻表入りPRチラシ及びポケットティッシュの配布を行った一方、応募のなかった案件が4件あった。 ▶ 各課で有している公有財産、印刷物等の物品を有効活用し、新規広告事業の導入を進め、財源の確保に努めるよう庁内に周知した。 					

*デジタルサイネージ
デジタル表示パネルを利用した電子看板のこと。

㉓ ふるさと納税の推進

【所管課：ひめじ創生戦略室】

取組内容		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
返礼品の充実		▶ 新規事業者、新規返礼品の募集・開拓					
PR活動の充実		▶ 姫路市関係者（出身者等）及び観光客への広報					
数値目標	寄付金額 ※個人からの寄付額 〔H30年度実績：1,374万円〕 〔R1年度実績：2,505万円〕	目標値	3,000万円以上	1億円以上 (当初:3,500万円以上)	2億円以上 (当初:4,000万円以上)	2.8億円以上 (当初:4,500万円以上)	3億円以上 (当初:5,000万円以上)
		実績値	7,142万円	1.8億円	2.3億円		
		達成	達成	達成			
単年度効果額		57,681千円	164,166千円	215,246千円			
令和4年度取組内容		▶ ふるさと納税ポータルサイト数を増加した。（4サイト→7サイト） ▶ ふるさと納税を活用したクラウドファンディングを実施した。 ・はりまのお酒PR大作戦プロジェクト ▶ ふるさと納税体験型返礼品開発事業を実施した。 ・試合観戦&ヴィクトリーナ姫路の選手にサーブを打って、アタックを受けよう！					

15 公共施設等総合管理計画の推進

GOAL〔目標〕

公共施設マネジメントの推進により、次世代に負担を先送りすることなく、将来にわたって公共サービスの提供と持続可能なまちづくりを目指します。

④ 施設評価に基づく適正規模・最適配置

【所管課：行政経営課】

取組内容		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
施設評価に基づく施設の規模・配置の検討		▶施設評価シートの公表	▶施設評価に基づく個別実施計画の策定			
公共施設等総合管理計画の改訂		▶公共施設等総合管理計画の改訂（施設の適正配置の方針、整備目標の再設定、施設カルテの追加等）	▶計画に基づく取組みの推進			
数値目標	目標値	-	-	-	-	〔令和7年4月1日〕 △3.0%
	実績値	+0.1%	+1.3%	△1.4%		
	公共建築物の床面積総量の削減率 ※平成27年度の計画策定時との比較 〔平成31年4月1日：+0.1%〕 〔令和2年4月1日：△0.2%〕	-	-	-		
単年度効果額		-	-	-		
令和4年度取組内容		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 公共施設等総合管理計画を改訂し、令和3年におこなった「ゼロカーボンシティ宣言」を踏まえ、施設の新設・改修時には、環境に配慮した整備に努めることを明記した。 ▶ アイランドハウスいえしま荘について、地域活性化に資することを条件に、民間譲渡する方針で個別実施計画を策定した。 ▶ 遊漁センターについて、施設の老朽化が目立つことから、今後の施設のあり方を検討するため、令和6年3月末で休園することを決定した。 ▶ 動物管理センターについて、現施設を廃止し、新たな機能を付与した「（仮称）姫路市動物保健センター」を、大規模改修を実施する保健所内に移転整備する方針で個別実施計画を策定した。 				

16 公共施設等の最適な管理運営

GOAL〔目標〕

民間活力の活用などにより最適な施設管理を行うとともに、計画的な施設保全によって機能維持とライフサイクルコストの縮減の両立を目指します。

⑫ 民間ノウハウを活用した施設管理

【所管課：行政経営課】

取組内容		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
指定管理者制度の効果的・効率的運用		<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者制度の効果的・効率的運用（利用料金制の導入促進、自主事業の活性化、非公募の公募化、指定期間の長期化、導入・更新時のサウンディング型市場調査の実施等） 				
		<ul style="list-style-type: none"> 自主事業の促進方策の検討 試行に向けた事業者募集 	<ul style="list-style-type: none"> 試行、検証 	<ul style="list-style-type: none"> 本格実施（新たな自主事業の開始） 		
新たな施設管理の方策検討		<ul style="list-style-type: none"> 包括管理業務委託等の先進事例の調査・研究 	<ul style="list-style-type: none"> 新手法の検討 導入意向調査 	<ul style="list-style-type: none"> 対象施設の選定 	<ul style="list-style-type: none"> 新手法による試行 	<ul style="list-style-type: none"> 効果の検証
数値目標	目標値	1億円以上	1億円以上	1億円以上	1億円以上	1億円以上
	実績値	指定管理者制度導入による効果額 〔H30年度実績：0.97億円〕 〔R 1年度実績：1.24億円〕	-	-	-	-
		単年度効果額	-	-	-	-
令和4年度取組内容		<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者制度の適正かつ効果的な運用を図るため、指定管理者制度の外部評価を令和5年度の指定管理者選定委員会より導入することを決定した。 アイランドハウスいえしま荘について、民間事業者のノウハウを活かした新たな地域活性化に資する施設となるよう、指定管理制度による運営を改め、民間譲渡による方針を決定した。 				

※ 数値目標「指定管理者制度導入による効果額」及び単年度効果額の実績値については、新型コロナウイルス感染症の影響による利用料金等の補填や光熱水費の補填等を行っており、正確な効果額を算出できないため、「-」としている。

26 公共建築物の適正保全

【所管課：住宅課、営繕課、学校施設課】

取組内容		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
法定点検・日常点検による不具合の早期発見		▶ 定期点検業務の一括発注、劣化調査の実施					
公共建築物保全計画の推進		▶ 工事優先度及び短期保全計画の見直し					
長寿命化計画（住宅・学校）に基づく計画的な整備		▶ 計画に基づく整備・修繕 ▶ 法定点検、日常点検の実施					
施設保全に関する研修の実施		▶ 施設管理者向け研修の開催					
数値目標	法定点検で「要是正」と指摘される建築物の棟数の割合 〔H30年度実績：75%〕 〔R 1年度実績：67%〕	目標値	70%以下	65%以下	60%以下	55%以下	50%以下
		実績値	70%	69%	74%		
		達成	未達成	未達成			
単年度効果額		-	-	-			
令和4年度取組内容		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 定期点検業務の一括発注を行い、劣化調査も含めて法定点検・調査を実施し、不具合等の早期発見に努めた。 ▶ 計画通り、工事優先度及び短期保全計画の見直しを実施した。 ▶ 施設保全に関する研修については、新型コロナウイルス感染防止の観点から、研修資料を全庁掲示板に掲載する方式で書面開催にて実施した。 					

27 維持管理経費の縮減

【所管課：行政経営課】

取組内容		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
電力・ガス入札の実施		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 導入施設の拡大 ▶ 最適な入札方法（契約期間、グルーピング等）の検討・導入 				
数値目標	目標値	2億円以上	2億円以上	2億円以上	2億円以上	2億円以上
	実績値	2.2億円	2.4億円	2.4億円		
	〔H30年度実績：2.6億円〕 〔R 1年度実績：1.9億円〕	達成	達成	達成		
単年度効果額		19,668千円	40,103千円	40,103千円		
令和 4 年度取組内容		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 国の節電プログラム促進事業等を活用して、維持管理経費の縮減を図るとともに、冬期における省エネルギーの取組のさらなる推進を図った。 ▶ 昨今の燃料費の高騰等により、全国的に電力入札の不調が相次いでいることを受け、令和 5 年度中に契約期間が満了する施設について、他都市の調査や小売電気事業者へのヒアリング等を行った。 				

17 新たなPDCAサイクルの実施

GOAL [目標]

実効性のあるPDCAサイクルを新たに構築して事業の新陳代謝と効率化を図るとともに、質の高い行政サービスの提供を目指します。

28 総合計画の効果的な運用

【所管課：企画政策室、行政経営課、人事課、財政課】

取組内容		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
予算・組織編成と連動した施策・事業評価		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 予算・組織編成と連動した施策・事業評価のスキームづくり及び試行 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 実施計画の更新 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 市民意識調査の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 政策評価の実施 ▶ KPIの目標値の達成状況の把握 ▶ 実施計画の改訂 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 実施計画の更新
数値目標	目標値	-	-	-	-	100%
	施策・事業評価の結果を踏まえた見直し完了度	-	-	-	-	-
		実績値	-	-	-	-
単年度効果額		-	-	-	-	-
令和4年度取組内容		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 総合計画の基本構想で示すまちづくりの方向性に基づき、市が取り組む具体的な事業を効果的かつ着実に進めるための行動計画である実施計画（令和5年度～令和7年度）の更新に向け、掲載事業の精査を行った。 ▶ 総合計画の趣旨を踏まえ、策定している各分野の個別計画について進捗把握を行った。 ▶ 令和6年度に予定している実施計画の改訂に向けて、総合計画に掲げる政策の「目指す姿」に対する市民実感を把握するため、市民意識調査を実施した。 				

***総合計画**

市のすべての計画の基本となり最上位に位置付けられる計画で、長期的な展望の下、総合的かつ計画的なまちづくりを進めるための指針のこと。現在の姫路市総合計画「ふるさと・ひめじプラン2030」の計画期間は令和3年度から令和12年度までの10年間。

18 ICTの積極的な活用

GOAL [目標]

ICT（情報通信技術）の活用によって、事務負担の軽減と効率化を促進します。

29 AI、RPA等による作業の自動化・省力化

【所管課：デジタル戦略室】

取組内容		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
AI、RPA等の活用による定型的作業の自動化、効率化 【先進事例_AI】 ・会議録作成支援 ・国民健康保険レセプト点検業務 ・保育園の入園AIマッチング ・画像認識による歩行者通行量調査 【先進事例_RPA】 ・コンビニ交付集計 ・職員の超過勤務管理 ・臨時職員の賃金支払業務 ※出典：総務省「地方自治体におけるAI・RPAの実証実験・導入状況等調査」		▶対象作業の選定・実施、導入効果の検証	▶対象作業の選定・実施、導入効果の検証	▶対象作業の選定・実施、導入効果の検証	▶対象作業の選定・実施、導入効果の検証	▶対象作業の選定・実施
		▶対象作業の拡大に向けたライセンス、端末環境の順次拡充				
数値目標	目標値	70%以上削減	70%以上削減	70%以上削減	70%以上削減	70%以上削減
	実績値	0%	51%	63%		
		未達成	未達成	未達成		
単年度効果額		-	1,659千円	1,185千円		
令和4年度取組内容		▶ 令和3年度にAI-OCR/RPAの構築を行った健康教育課・高齢者支援課・介護保険課・国民健康保険課・資産税課・こども総務課の6課6業務について、運用を開始した。 ▶ 市川美化センター・国民健康保険課・後期高齢者医療保険課・障害福祉課・契約課の5課10業務について、AI-OCR/RPAの導入対象業務として選定し、令和5年度の運用開始に向けて構築作業を行った。				

*AI(Artificial Intelligence)
 言語の理解や推論、問題解決などの知的行動を人間に代わってコンピュータに行わせる技術のこと。人工知能とも呼ぶ。
 *RPA(Robotic Process Automation)
 ロボットによって単純な間接業務を自動化する技術のこと。

19 窓口サービスの向上

GOAL〔目標〕

マイナンバーカードの利用価値を高め、あわせてオンライン申請の導入やキャッシュレス決済の拡充により、市民の利便性向上と窓口業務の効率化を目指します。

③⑩ マイナンバーカードの利活用

【所管課：デジタル戦略室、住民窓口センター】

取組内容		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
多目的利用に向けた環境整備		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 公的個人認証によるオンライン申請に対応した行政手続の拡充検討 ▶ マイナンバーカードを利用したサービス（コンビニ交付、図書貸出、申請書自動作成、認証プリンタ等）の利用推進 ▶ 多目的利用に向けた調査・研究（自治体ポイント*制度導入に係る検証等） 				
マイナンバーカードの普及拡大		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 商業施設、企業等での一括申請受付実施 ▶ 出先事務所での顔写真撮影サービス実施 ▶ 業務フローの見直し（カード申請の効率化等） ▶ カード交付管理システムの構築・導入 ▶ 保険者との調整 				
		<ul style="list-style-type: none"> ▶ キオスク端末*設置（本庁舎） ▶ マイナンバーカードセンターの開設 		<ul style="list-style-type: none"> ▶ キオスク端末設置（効果が見込まれる出先事務所） 		<ul style="list-style-type: none"> ▶ キオスク端末設置（各地域の公共・民間施設）
		▶ 普及拡大に係る広報（健康保険証での利用等）				
目標値	マイナンバーカードの交付率	目標値	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上
	〔全国平均 14.8%、姫路市 14.6%〕 ※令和元年12月末時点 〔全国平均 16.0%、姫路市 15.6%〕 ※令和2年3月末時点	実績値	全国 28.23% 姫路市 28.99% ※令和3年3月末時点	全国 43.29% 姫路市 46.40% ※令和4年3月末時点	全国 67.02% 姫路市 69.47% ※令和5年3月末時点	
			達成	達成	達成	
単年度効果額		-	-	-		
令和4年度取組内容		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 自治体マイナポイントによるポイント事業や、マイナンバーカードを活用した救急業務実証事業を実施したほか、市民アプリ「ひめパス」を導入した。 ▶ 取得率の低い自治会や市内高等学校、大型商業施設、市内企業・病院等を対象に出張申請を実施し、マイナンバーカードの普及拡大を図った。 				

*自治体ポイント 消費増税による反動減対策を目的とするもので、マイナンバーカードを活用した、いわゆる「デジタル商品券」のこと。

*キオスク端末 マイナンバーカードを利用して、各種証明書が取得できるコンビニエンスストア等に設置されているマルチコピー機のこと。

③1 窓口サービスの効率化・省力化

【所管課：デジタル戦略室、住民窓口センター】

取組内容		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
窓口専用タブレット端末の設置		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 窓口専用タブレット端末の利用方法（来庁者説明用、デジタル申請用等）の調査・研究 ▶ 業務フローの見直し 		<ul style="list-style-type: none"> ▶ デモ等の実施による窓口ソリューションの調査・研究 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 本格導入、効果検証（住民窓口センター） ▶ タブレット端末の拡充検討（出先事務所）及び住民データのバックヤード連携 	
窓口手続きのデジタル化及びオンライン申請に向けた環境整備		<ul style="list-style-type: none"> ▶ オンライン申請に対応した行政手続の拡充 ▶ 申請データの業務システムへの取込連携に係る調査・研究 				
		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 窓口手続きのデジタル化の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 窓口手続きのデジタル化の試行、検証（住民窓口センター） 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 窓口手続きのデジタル化の拡充検討 		
クレジットカードや電子マネーを利用した納付窓口の拡大及び環境整備		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 先進事例の研究 ▶ 業務フローの見直し ▶ 証明書郵送業務のオンライン決済の調査研究、試行導入 ▶ 本庁舎窓口でのキャッシュレス決済の試行導入による効果検証、本格導入 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 出先事務所窓口でのキャッシュレス決済を順次導入 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 証明書郵送業務のオンライン決済の本格導入 		
					<ul style="list-style-type: none"> ▶ 庁内他部署での活用推進 	
数値目標	目標値	1施設	-	-	1施設	2施設
	実績値	0施設	-	-		
		未達成	-	-	-	
単年度効果額		-	-	-		
令和4年度取組内容		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 窓口サービスの利便性向上に向け、令和5年度のスマート窓口構築に向けた検討を行った。 ▶ 除籍（全部事項証明・個人事項証明）や印鑑登録証明書など、オンライン申請ができる証明書等を新たに追加した。 ▶ 窓口キャッシュレス端末を、新たに8出先事務所に導入した。 ▶ 令和5年度導入に向けて、書かない窓口（窓口専用タブレット）の商品開発業者3社のデモ等実施による姫路市仕様のシステム及び窓口体制の調査研究を行った。 				

20 業務カイゼンの推進

GOAL〔目標〕

職員一人ひとりが経費・時間を意識した積極的な事務改善を行い、事務・作業能率を高めて市民サービスの向上を目指します。

③ 職員提案制度の活性化

【所管課：行政管理課】

取組内容		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
職員提案制度の見直し		▶ ポイント制（賞のランクによりポイントを付与）の試行、検証		▶ ポイント制の本格導入		
数値目標	1課5ポイントの全課達成率	目標値 80%以上	80%以上	100%	100%	100%
		実績値 54%	51%	83%		
		未達成	未達成	未達成		
単年度効果額		695,668千円	273,659千円	374,045千円		
令和4年度取組内容		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 1課5ポイントの全課達成率は83%に留まったが、庁内全体の総ポイント数（1141P）は全課が5ポイント獲得した場合の総ポイント数（160課×5P=800P）を上回った。 ▶ カイゼンの共通テーマに「業務のスマート化」、「グリーンの促進」、「コミュニケーションの向上」を設定し、職員の自発的な提案活動の促進を図った。 ▶ 受賞提案を紹介する通信の発行や、庁内会議における各課の提案状況の報告を継続して実施した。 				

21 公民連携の推進

GOAL〔目標〕

多様化、高度化する市民ニーズに対応するため、民間等の活力を活用した様々な事業手法の導入により、新たな行政サービスの提供や質の向上、業務の効率化を目指します。

③ PPP/PFIの推進

【所管課：行政経営課、人事課】

取組内容		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
PPP/PFI手法、サウンディング型市場調査 [*] の促進		<ul style="list-style-type: none"> ▶ PPP/PFI手法の庁内外への啓発 ▶ サウンディング型市場調査実施に向けた庁内意向調査 					
アウトソーシングの推進		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 定型的業務、庶務業務等の業務委託が可能な職域・業務の検討・調整、実施 					
新たなPPP/PFI手法の調査・研究		<ul style="list-style-type: none"> ▶ パークマネジメント、随意契約保証型民間提案制度、ソーシャル・インパクト・ボンド[*]等の新たなPPP/PFI手法の調査・研究、実施 					
数値目標	サウンディング型市場調査の実施件数 〔H30年度実績：3件〕 〔R1年度実績：4件〕	目標値	3件以上	3件以上	3件以上	3件以上	3件以上
		実績値	5件	3件	3件		
		達成	達成	達成			
単年度効果額		-	-	-			
令和4年度取組内容		<ul style="list-style-type: none"> ▶ サウンディング型市場調査を3件実施し、民間事業者のアイデアや意見等を事業に反映した。 ▶ 賑わいのある道路空間創出のため、全国で初めて、歩行者利便増進道路（ほこみち）に指定された大手前通りについて、道路占用者を決定し、運用を開始した。 ▶ 行政の課題と民間事業者のノウハウのマッチングを図ることを目的に、民間事業者が運営するサイトを活用した民間提案制度を試行実施した。 					

^{*}サウンディング型市場調査

事業発案段階や事業化検討段階において、事業内容や事業スキームなどに関して、民間事業者との対話により様々なアイデアや意見等を把握する調査のこと。

^{*}ソーシャル・インパクト・ボンド（SIB）

民間活力を社会的課題の解決に活用するため、民間資金を呼び込み成果報酬型の委託事業を実施する、新たな社会的インパクト投資の取組みのこと。

③4 包括連携協定の推進

【所管課：ひめじ創生戦略室】

取組内容		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
民間企業との包括連携協定の拡充		▶ 連携事業調整会議の開催による連携事業の活性化（新規事業の検討や既存事業の見直し等）				
数値目標	連携協定に基づく社会課題解決の新たな取組み件数（5年間累計）	3件以上	6件以上（累計）	20件以上（累計） （当初：9件以上（累計））	35件以上（累計） （21件以上（累計） （当初：12件以上（累計））	38件以上（累計） （22件以上（累計） （当初：15件以上（累計））
	〔H30年度実績：18件〕 〔R1年度実績：3件〕	3件	18件（累計）	32件（累計）		
	実績値	達成	達成	達成		
単年度効果額		－	－	－		
令和4年度取組内容		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 地域の諸課題に迅速かつ適切に対応し、活力ある個性豊かな地域社会の形成と発展及び市民サービスのより一層の向上を図るため、新たに2者と包括連携協定を締結した。 ▶ 包括連携協定に基づく新たな取組みを14件実施した。 				

22 広域連携の推進

GOAL〔目標〕

圏域内の連携によりスケールメリットのある施策を展開することによって地域を活性化・発展させるとともに、圏域マネジメント能力を強化し、効率的な行政運営を目指します。

③ 播磨圏域連携中枢都市圏の推進

【所管課：ひめじ創生戦略室、行政経営課】

取組内容		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
播磨圏域連携中枢都市圏ビジョン*の推進		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 播磨圏域成長戦略会議の開催 ▶ 連携中枢都市圏ビジョンの改定、進捗管理 ▶ 事業の改廃に向けた事業担当課との調整 				
圏域内でのデータ共有・利活用に向けた調査・研究		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 市町ごとに保有している公共施設データを圏域内で共有・利活用するための調査・研究 				
数値目標	播磨圏域連携中枢都市圏ビジョンに定める連携事業の実施率	100%	100%	100%	100%	100%
	〔H30年度実績：98%〕 〔R1年度実績：98%〕	89%	96%	96%		
		未達成	未達成	未達成		
単年度効果額		-	-	-		
令和4年度取組内容		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 夜間中学に係る新たな連携事業を実施するため、連携協約の一部を変更した。 ▶ 3年ぶりに播磨圏域成長戦略会議を対面で開催した。 ▶ 連携中枢都市圏ビジョンの一部実施、検討中の事業についてフォローアップを実施した。 ▶ 公共施設データの圏域内で共有・利活用については、システム上での共有が困難であることが判明したため、令和2年度より兵庫県主催の関係市町による研修会等を通じて、他都市との情報交換を行い、課題等の共有化を図った。 				

*播磨圏域連携中枢都市圏ビジョン

播磨圏域8市8町の連携協約に基づき推進する具体的な取組みを規定したもの。

23 市民活動への支援

GOAL [目標]

市民一人ひとりが個性や能力を十分に発揮し、多種多様な市民活動団体によって地域コミュニティ活動が活発に行われる魅力ある社会の構築を目指します。

36 コミュニティ活動・ボランティア活動への支援

【所管課：市民活動推進課、市民活動・ボランティアサポートセンター】

取組内容		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
市民活動団体との協働契約、企業とのまちづくりパートナーシップ協定の検討		▶ 調査・研究、実施の可能性を検討	▶ 次期市民活動・協働推進事業計画の中での取組みの検討	▶ 次期市民活動・協働推進事業計画の内容の見直しに基づく事業の実施			
情報の収集・提供、連携・交流事業等の充実		▶ 新しい公式サイトでの情報発信					
持続可能なコミュニティ活動への支援の充実		▶ 情報提供の充実に向けた新たなメニューの調査・研究、計画		▶ 新規メニューの実施とフリカエリ	▶ 新たなソーシャルメディア活用の調査・研究、検討		
		▶ 連携交流事業の検討	▶ 連携交流事業の実施 ▶ 次年度以降の事業検討	▶ 連携交流事業の見直し、事業検討		▶ 新たな連携交流事業の計画	
		▶ 地域活動充実支援事業の実証実験、中間報告の取りまとめ	▶ 地域活動充実支援事業の実証実験、方針案の取りまとめ	▶ 地域活動充実支援の全市展開			
		▶ 支援メニューの検討、自治会等の活動に必要な資機材・地域イベントに対する助成メニューの調査・研究					
数値目標	講座・研修会の開催回数、受講者数 〔H30年度実績：5回、112人〕 〔R1年度実績：5回、93人〕	目標値	5回・120人	5回・130人	5回・140人	6回・150人	6回・160人
		実績値	4回・77人	5回・96人	5回・107人		
	ボランティア登録数（団体、個人） 〔H30年度実績：374団体、428人〕 〔R1年度実績：388団体、430人〕	目標値	380団体・435人	385団体・440人	390団体・445人	395団体・450人	400団体・460人
		実績値	372団体、425人	368団体・420人	362団体・398人		
単年度効果額		-	-	-			
令和4年度取組内容		▶ 市民活動・協働推進事業計画に記載の施策を進め、計画の中間報告（令和5年度）に向け、各施策の進捗管理を行った。 ▶ 人材育成・学習機会の提供等を実施したほか、SNSを活用した若い世代へのボランティア情報の発信に取り組んだ。 ▶ 連携交流事業の「ひめじおんまつり」の開催方法を見直し、次年度に向け新たなイベントの開催を検討した。 ▶ 地域活動充実支援事業報告書を取りまとめ、各地区連合自治会長等へ説明し公表した。また、今後各地区の団体が地域活動の充実に取り組む際に活用できるよう、既存事業である地域コミュニティ活性化アドバイザー派遣制度を拡充した。					

24 外郭団体の活動支援と活性化

GOAL〔目標〕

各団体が有する専門性の発揮、公益性の確保及び市民ニーズを踏まえた積極的な事業展開を図り、市と一体となって質の高いサービスの提供を目指します。

③7 外郭団体の活性化

〔姫路市まちづくり振興機構〕

【所管課：企画政策室】

取組内容		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
団体の特性を活用した新たな事業展開		▶ 地域や関係団体とのネットワークを活用した事業展開の検討				
事業のスクラップ・アンド・ビルド		▶ 手柄山遊園・市民プール事業の見直し	▶ イーグレひめじの所有床の市への売却完了に伴う事業の見直し	▶ 事業のスクラップ・アンド・ビルド		
次期中期経営改善計画の策定・推進		▶ 次期中期経営改善計画の策定 ▶ 次期中期経営計画に基づく健全経営の推進				
数値目標	目標値	135,300人以上	135,300人以上	135,300人以上	135,300人以上	135,300人以上
	実績値	20,400人 ※観月会(オンライン)	57,736人 ※うち観月会(オンライン)14,750人	65,928人		
		未達成	未達成	未達成		
単年度効果額		-	-	-		
令和4年度取組内容		▶ 新型コロナウイルス感染症の影響により前年度中止となったスポーツイベントや観桜会、観月会などを感染症対策を講じた上で開催し、主催事業へのさらなる集客に取り組んだ。				

〔姫路市中小企業共済センター〕

【所管課：労働政策課】

取組内容		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
会員数の増加		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 加入済の企業に対する脱会防止（事業の充実） ▶ 積極的な加入促進による新規事業所の獲得 				
次期中期経営改善計画の策定・推進		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 次期中期経営改善計画の策定 ▶ 次期中期経営改善計画に基づく健全経営の推進 				
数値目標	目標値	40,000人以上	40,250人以上	40,500人以上	40,750人以上	41,000人以上
	実績値	39,560人	39,506人	39,445人		
		未達成	未達成	未達成		
単年度効果額		-	-	-		
令和4年度取組内容		<ul style="list-style-type: none"> ▶ アンケート等により利用者ニーズを把握し脱会を防止するとともに、未加入事業者への広報活動を実施した。 ▶ 責任準備金100%の維持、資産運用生保会社の経営の把握及び監視を行い、健全経営の推進を図った。 ▶ 余暇活動事業の拡充や割引施設の拡大に取り組み、福利厚生事業の充実を図り、会員数の確保に努めた。 				

〔姫路・西はりま地場産業センター〕

【所管課：産業振興課】

取組内容		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
健全経営の確保		▶ 播産館の売上、貸室の使用料収入増等による健全経営の確保				
次期中期経営改善計画の策定・推進		▶ 次期中期経営改善計画の策定 ▶ 次期中期経営改善計画に基づく健全経営の推進				
数値目標	目標値	22,500千円以上	23,175千円以上	23,870千円以上	24,586千円以上	25,323千円以上
	実績値	12,683千円	16,794千円	24,779千円		
		未達成	未達成	達成		
単年度効果額		-	-	909千円		
令和4年度取組内容		▶ 集客の増加につながるよう、地場産品の季節限定商品の販売やInstagramによる情報発信に取り組んだ。また、観光客向けの商品説明の充実を図るなど、全国旅行支援等の影響による観光客増加の好機を捉えた販売促進を行った。				

*播産館

姫路を含む播磨5市6町の地場産業の振興や福祉の増進等を図るために設立された「姫路・西はりま地場産業センター」が運営する「じばさんびる」の1階にある郷土名産コーナーのこと。

〔姫路市救急医療協会〕

【所管課：地域医療課】

取組内容		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
適正受診の推進		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 市民啓発 ▶ 救急医療電話相談事業の実施 				
安定的な診療体制の維持		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 医師や看護師等の医療従事者の確保 				
次期中期経営改善計画の策定・推進		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 次期中期経営改善計画の策定 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 次期中期経営改善計画に基づく健全経営の推進 			
数値目標	正規看護師の充足率 〔H30年度実績：100%〕 〔R 1年度実績：100%〕	目標値	100%	100%	100%	100%
		実績値	100%	91.7%	79.9%	
		達成	未達成	未達成		
	不要不急の受診抑制（電話相談により受診に至らなかった率） 〔H30年度実績：75.1%〕 〔R 1年度実績：73.2%〕	目標値	78%以上	78%以上	78%以上	78%以上
		実績値	67.7%	69.7%	71.7%	
		未達成	未達成	未達成		
単年度効果額		-	-	-		
令和4年度取組内容		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 正規看護師の充足率の向上に向けて、広報ひめじやハローワーク等に求人広告を掲載する等の様々な広報媒体を活用した求人や、知人からの紹介等の採用活動により、正規看護師の確保に努めた。 ▶ 受診抑制について、広報ひめじ9月号に「救急医療紙上フォーラム」を掲載するとともに、救急早見表を同時配布し、市民啓発に努めた。 				

〔姫路市文化国際交流財団〕

【所管課：文化国際課】

取組内容		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
組織再編と業務体制の見直し		<ul style="list-style-type: none"> 文化センター機能移転後の組織体制の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 施設管理部門の再編 	<ul style="list-style-type: none"> 施設管理部門の再編効果の検証 	<ul style="list-style-type: none"> 事業部門の再編 	<ul style="list-style-type: none"> 事業部門の再編効果の検証
次期中期経営改善計画の策定・推進		<ul style="list-style-type: none"> 次期中期経営改善計画の策定 	<ul style="list-style-type: none"> 次期中期経営改善計画に基づく健全経営の推進 			
数値目標	目標値	80,000人以上	90,000人以上	80,000人以上	80,000人以上	80,000人以上
	実績値	23,514人	52,674人	52,266人		
		未達成	未達成	未達成		
単年度効果額		-	-	-		
令和4年度取組内容		<ul style="list-style-type: none"> 姫路市文化センター閉館に伴う組織改編を行い、同改編に伴う効果の確認を行った。 アクリエひめじ開館記念事業について、指定管理者と連携し、計画・実施した。 				

〔姫路市社会福祉事業団〕

【所管課：地域福祉課】

取組内容		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
高度な専門性等を活用したサービスの質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ▶ アンケートによるニーズ把握と改善 ▶ 研修の実施 					
次期中期経営改善計画の策定・推進		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 次期中期経営改善計画の策定 ▶ 次期中期経営改善計画に基づく健全経営の推進 					
数値目標	施設の稼働率（利用者数／定員数）	目標値	77.1%以上	79.7%以上	81.6%以上	83.4%以上	85.2%以上
	〔H30年度実績：73.0%〕 〔R 1年度実績：76.7%〕	実績値	76.1%	76.2%	73.2%		
			未達成	未達成	未達成		
単年度効果額		-	-	-			
令和4年度取組内容		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 利用者アンケートを実施し、利用者へのサービスの質の向上につなげた。 ▶ 専門性の高い知識の習得やサービスの質を向上するため、職員研修を実施した。 					

〔姫路市社会福祉協議会〕

【所管課：地域福祉課】

取組内容		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
小地域福祉活動の多様な担い手の育成		▶ 担い手の育成推進（事業説明会、研修会、懇談会の実施）					
次期中期経営改善計画の策定・推進		▶ 次期中期経営改善計画の策定		▶ 次期中期経営改善計画に基づく健全経営の推進			
数値目標	地域福祉ボランティア数	目標値	10,660人以上	10,680人以上	10,700人以上	10,720人以上	10,740人以上
	〔H30年度実績：10,573人〕 〔R 1年度実績：10,286人〕	実績値	10,398人	10,012人	9,685人		
			未達成	未達成	未達成		
単年度効果額		-	-	-			
令和4年度取組内容		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 小地域福祉活動の多様な担い手の育成を推進するため、事務説明会・研修会・懇談会を開催した。 ▶ 社協支部の課題解決や活動の活性化につながるよう、社協支部事業情報交換会を開催した。 					

〔姫路市シルバー人材センター〕

【所管課：労働政策課】

取組内容		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
就業機会の開拓		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 事業所、一般家庭へのPR活動の実施 ▶ 会員に対する講習会の開催 					
会員数の増加		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 会報、求人情報誌、新聞折込等による周知 ▶ 会員口コミによる勧誘運動 					
次期中期経営改善計画の策定・推進		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 次期中期経営改善計画の策定 ▶ 次期中期経営改善計画に基づく健全経営の推進 					
数値目標	会員数	目標値	2,700人以上	2,800人以上	2,900人以上	2,113人以上	令和5年度実績値以上
	(H30年度実績：2,660人) (R1年度実績：2,546人)	実績値	2,365人	2,211人	2,113人		
			未達成	未達成	未達成		
単年度効果額		-	-	-			
令和4年度取組内容		<ul style="list-style-type: none"> ▶ パンフレットの全戸配布やFMゲンキなど多様な広報媒体の活用等により、就業機会の拡大及び会員確保に努め、高齢者の能力を生かした活力ある地域社会づくりに寄与した。 ▶ 会員に対し安全就業についての意識向上を図るため、適宜講習会を実施した。 ▶ 提案型就業機会創出事業を活用し、ミスマッチや未就業者の減少に努めた。 ▶ 会員確保に向けて夫婦会員制度の継続実施や、オンラインによる入会説明会などを実施した。 					

【姫路観光コンベンションビューロー】

【所管課：観光課】

取組内容		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
安定財源の確保		▶ 安定財源の確保（売店の売上、自動販売機、コインロッカー設置・運営による収益増）				
登録DMO*への登録		▶ 登録DMO候補法人登録 ▶ 登録DMO登録に向けた要件等の整備	▶ 登録DMO登録 ▶ 観光地域づくり法人としての活動			
次期中期経営改善計画の策定・推進		▶ 次期中期経営改善計画の策定 ▶ 次期中期経営改善計画に基づく健全経営の推進				
数値目標	目標値	500件以上	525件以上	550件以上	575件以上	600件以上
	実績値	428件	421件	445件		
		未達成	未達成	未達成		
単年度効果額		-	-	-		
令和4年度取組内容		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 定期的に協議を行いながら、安定財源の確保に向け、滞在型コンテンツの造成事業を拡充するなどの取り組みにより自主財源の確保に努めた。 ▶ 観光庁の観光地域づくり法人（登録DMO）となり（令和3年11月4日付）、令和4年度からDMO企画委員会を開催し、登録後の在り方や備えるべき機能の検討、DMO取り組みに対するコンセンサスの形成について協議を行った。 ▶ DMO調査報告書を作成するなど、自主財源の確保に向けて協議を進めた。 				

***登録DMO**

地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに、地域への誇りと愛着を醸成する「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりの舵取り役として、戦略の策定とそれを着実に実施するための調整機能を備えた法人のこと。

アクションプラン実績訂正

01 令和2年度アクションプラン数値目標訂正

訂正箇所		訂正内容	
実行計画	数値目標	誤	正
21-⑳包括連携協定の推進	連携協定に基づく社会課題解決の新たな取組み件数(5年間累計)	4件 (達成)	3件 (達成)

02 令和3年度アクションプラン数値目標訂正

訂正箇所		訂正内容	
実行計画	数値目標	誤	正
21-⑳包括連携協定の推進	連携協定に基づく社会課題解決の新たな取組み件数(5年間累計)	19件 (達成)	18件 (達成)